

# 船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況報告書

令和2年12月

# 数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標・施策	数値目標・KPI	頁
基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】	全産業従業者数	2
	全産業の売上(収入)金額	3
施策1 起業・創業の促進	特定創業支援事業受講者のうち起業者数	4
	ふなばし起業スクールフォローアップセミナーの参加者数	5
施策2 企業の成長支援	製造品出荷額等	6
	年間商品販売額(小売)	7
	中小製造事業所(300人以下)の付加価値率	8
	施策3 企業誘致の促進	立地等企業促進補助事業の認定件数
施策4 農水産業の活性化	農水産物の単価 ①なし ②小松菜 ③にんじん ④枝豆 ⑤ホンビノスガイ ⑥海苔 ※①～④は共販出荷における市場単価、⑤⑥は出荷額単価	10
	施策5 産業横断的な取組みの推進	共同ビジネスマッチング事業におけるマッチング件数
基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】	船橋市の滞在人口(24時間平均)	12
施策1 船橋に行ってみたくと思う魅力の情報発信	住みたい街ランキング	13
	ふなばしセレクションの市民認知度	14
施策2 船橋に行ってみたくと思う魅力の創出	観光入込客数	15
	船橋アリーナで開催する千葉ジェッツホームゲームの平均観客動員数	16

基本目標・施策	数値目標・KPI	頁
基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】	合計特殊出生率	17
施策1 独身者の結婚の希望がかなう環境づくり	平均初婚年齢	18
	施策2 夫婦が希望どおり子供を育てる環境づくり	保育所待機児童数(4月1日時点)
施策3 安全に安心して子育て出来る環境づくり	人にやさしい歩道の整備延長	20
	ICT環境が整備された学校数	21
基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】	船橋市を「住みよい」と感じる市民の割合(「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計)	22
施策1 地域の实情に即した対策の推進	管理不全な空家の適正化率	23
		健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)の延伸
施策2 進行する高齢化への対応	地域介護予防活動支援事業の補助団体数	25
	ふなばしシルバーリハビリ体操指導士数	26
	公園を活用した健康づくり事業実施公園数	27
	生活支援コーディネーター配置地区数	28
施策3 市民が安全に安心して暮らせる環境づくり	自主防災組織結成率	29
	地域防災リーダー養成講座の受講者数	30
施策4 時代に合った魅力あるまちづくり	自主防犯パトロール隊の結成率	31
	公共施設等総合管理計画の策定	32
施策5 船橋に愛着・誇りを持つ取組みの推進	船橋市に「愛着がある」と思う市民の割合	33

# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

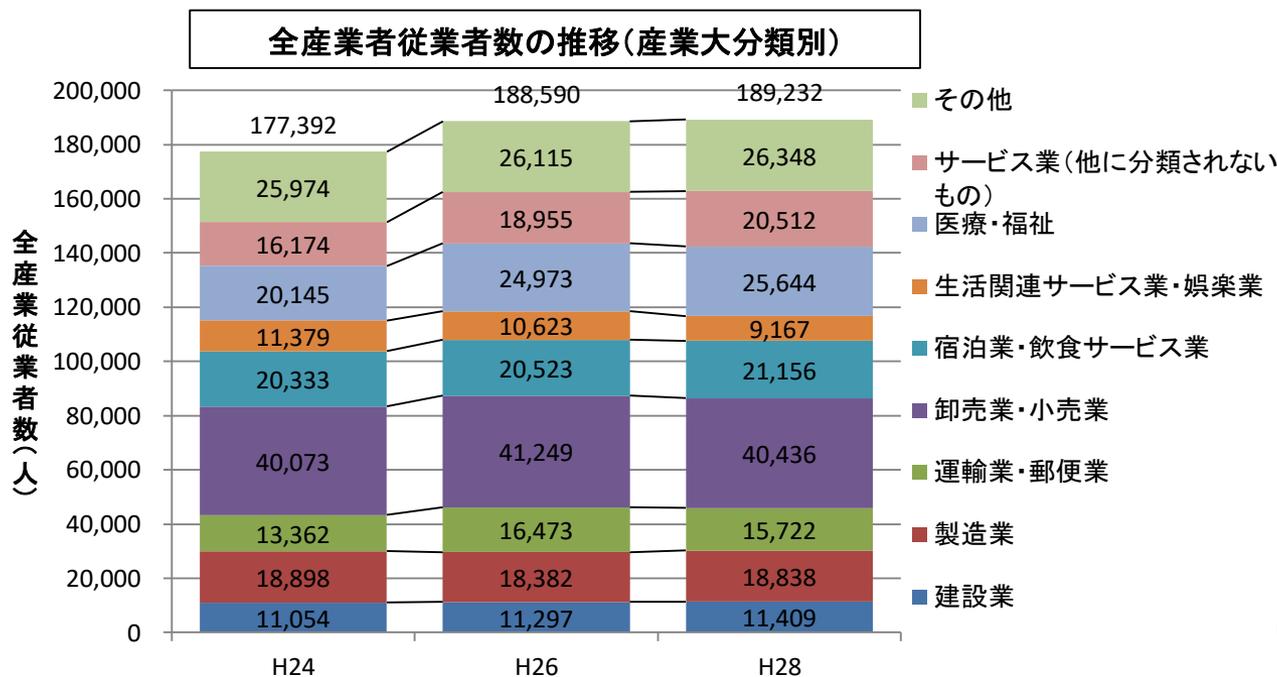
## 数値目標：全産業従業者数

策定時	現状	目標	評価
177,392人 (H24)	189,232人 (H28)	178,000人	達成

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

平成28年経済センサス活動調査によると189,232人と、平成24年と比較して11,840人増加し、目標値を超えた。  
産業大分類の内訳を見ると、「卸売業・小売業」が40,436人と最も多く、次いで「医療・福祉」が25,644人、「宿泊業・飲食サービス業」が21,156人となっている。  
また、平成24年と比較して増加数が多い産業は、「医療・福祉」が5,499人増で最も多く、背景として介護事業所等の増加に伴うものと考えられる。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	新目標(R3)については、すでに達成しているが、値については商工業戦略プランの指標を基に設定しており、商工業戦略プラン改定時に新目標を設定するか検討する。



# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

## 数値目標：全産業の売上(収入)金額

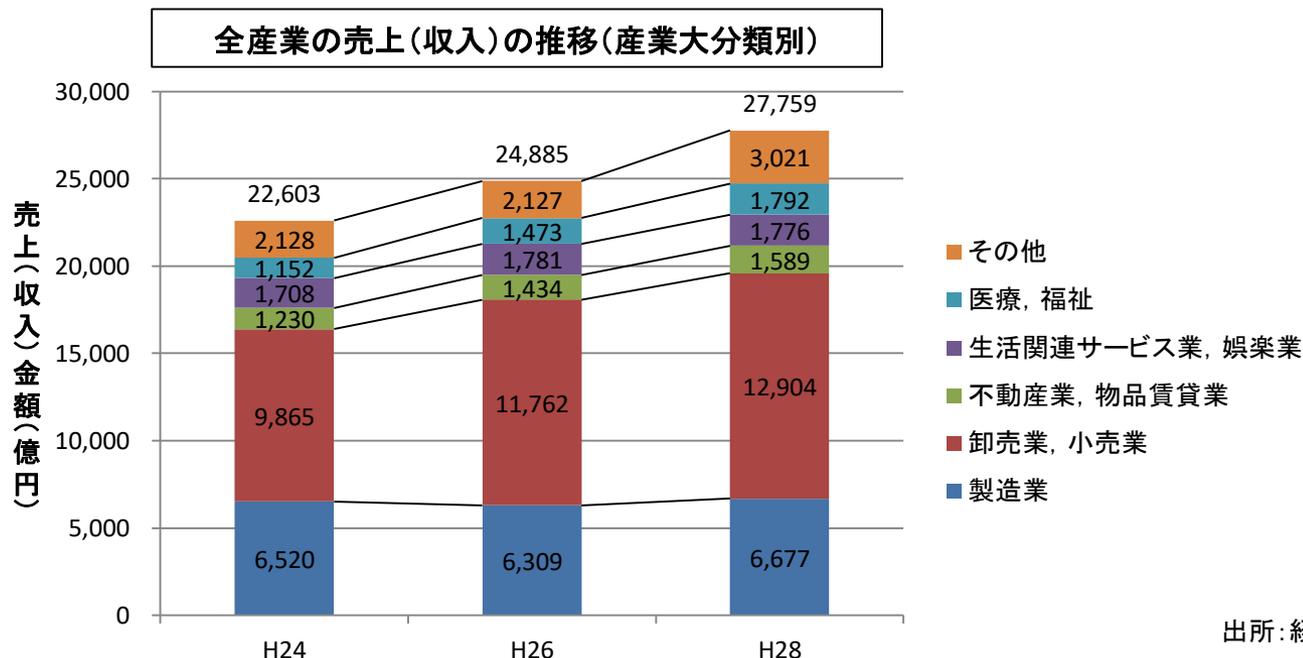
策定時	現状	目標	評価
2兆2,603億円 (H24)	2兆7,759億 (H28)	2兆3,800億円	達成

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

平成28年経済センサス活動調査によると2兆7,759億円と、平成24年と比較して5,156億円増加し、目標値を超えた。産業大分類別の内訳を見ると、「卸売業・小売業」が1兆2,904億円と最も多く、次いで「製造業」が6,677億円、「医療・福祉」が1,792億円となっている。

また、平成24年と比較して増加額が多い産業は、3,039億円増の「卸売業・小売業」、次いで640億円増の「医療・福祉」となっている。なお、当該指標については、事業所単位の売上高を把握できない「建設業」や「金融業・保険業」等の産業の数値は含まれていない。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	新目標(R3)については、すでに達成しているが、値については商工業戦略プランの指標を基に設定しており、商工業戦略プラン改定時に新目標を設定するか検討する。



# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

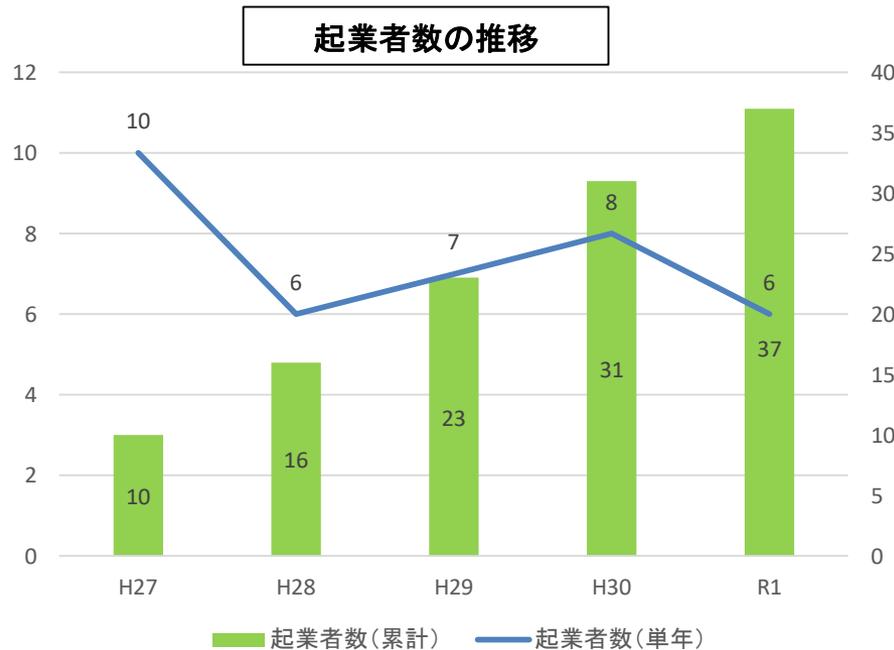
## KPI：特定創業支援事業受講者のうち起業者数

策定時	現状	目標	評価
事業開始 (H27)	37人 (H27～R1累計)	200人 (H27～R2の累計)	順調でない

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

目標 200人に対し、実績が37人となっており、進捗は順調ではない。起業者への支援として、起業に興味がある方向けの導入講座、起業のための知識取得を目的とした本講座、更なる知識取得を目的としたフォローアップセミナーを実施している。令和元年度より、事業の一貫性を確保するため、導入講座、本講座、フォローアップセミナーの受託者を統一し、継続した支援を行った。今後も一貫した支援を行うことで、起業者数の増加を目指す。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—



### 特定創業支援事業とは

**【概要】**  
市区町村又は認定連携創業支援事業者が創業希望者等に行う、継続的な支援で、経営、財務、人材育成、販路開拓の知識が全て身に付く事業。

**【支援制度】**  
特定創業支援事業を受けた方に対し、市が証明書を発行することで次の支援を受けることができる。

- 船橋市において株式会社及び合同会社を設立する際の登録免許税の軽減
- 日本政策金融公庫の新規開業支援資金の貸付利率の引き下げ対象として、同資金を利用することが可能
- 船橋市中小企業融資規則に基づき融資を受けた方が千葉県信用保証協会に支払う信用保証料を全額補給

# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

## KPI : ふなばし起業スクールフォローアップセミナーの参加者数

策定時	現状	目標	評価
—	57人 (R1)	60人	順調
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
<p>現総合戦略策定時は「創業実践塾の参加者数」をKPIとしていたが、当該事業を平成30年度に廃止し、令和元年度より開始した後継事業のふなばし起業スクールフォローアップセミナーの参加者数を新たなKPIとして設定した。</p> <p>このセミナー開催に際し、各回20人の定員を設定し募集開始したところ、各回定員を超える申し込みが有り、起業への関心の高さがうかがえたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、当日キャンセルが発生した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響から、対面式での開催が難しいケースも考えられるため、今後はオンライン方式による開催も採り入れ、より多くの方に参加してもらえるよう周知し継続して創業支援を行う。</p>			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

### 令和元年度開催実績

	講座名	内容	定員	申込	参加者
第1回	1/25(土)	<p>【講義】"売る"から"売れる"へ「起業・創業を推進する新・マーケティング」</p> <p>・マーケティングで時代と顧客を捉える ・「売り込み」ではなく「買いたい」を創り出す 他</p>	19	22	14
		<p>【演習】 マーケティング4Pでビジネスを整理してみよう</p> <p>・発表、講評、意見交換</p>			
第2回	2/1(土)	<p>【講義】 知っておきたい会計・経理のポイント</p> <p>・会計の活かし方 ・知っておきたい経理の常識 ・税金の落とし穴</p>	20	34	25
第3回	2/15(土)	<p>【講義】 ISP ～起業・創業に必要な販売促進を学び尽くす～</p> <p>・ISP（イニシャル・セールス・プロモーション）とは？ ・人口減少時代の販売促進の2つのキーワードとは？</p>	20	31	18
		<p>【演習】 ピンポイント型チラシの作成演習</p> <p>・発表、講評、意見交換</p>			

# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

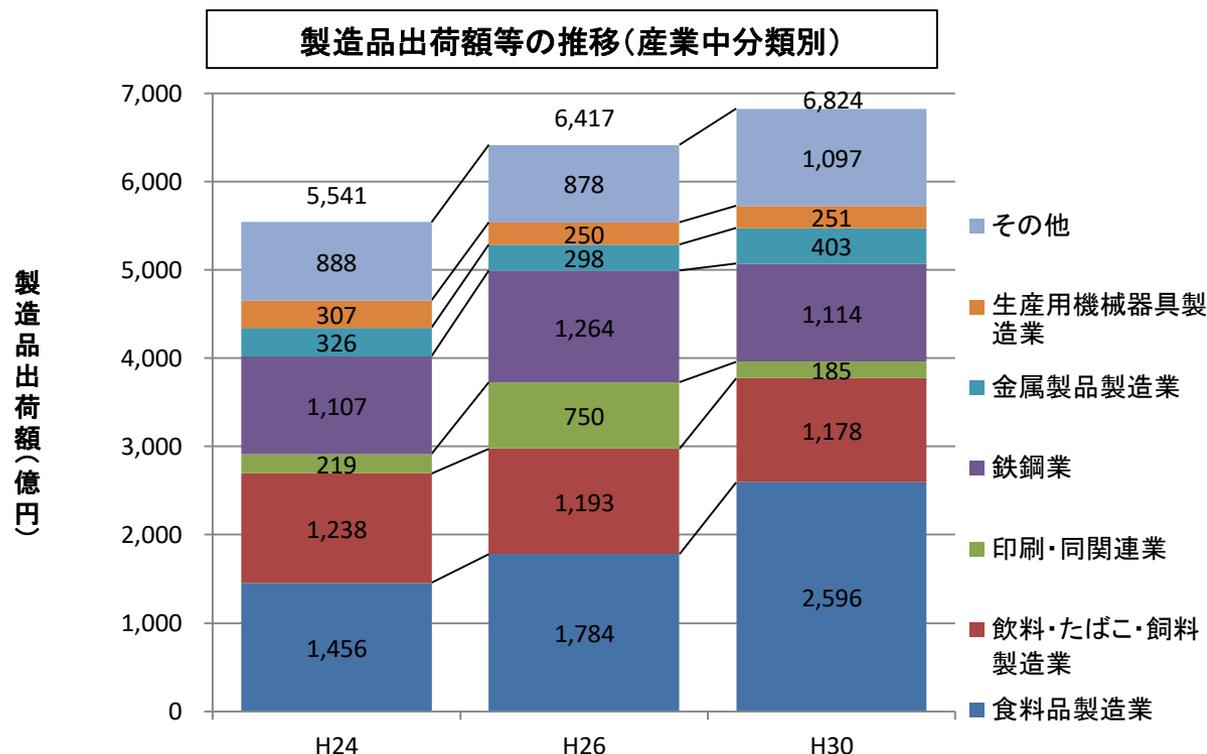
## KPI：製造品出荷額等

策定時	現状	目標	評価
5,541億円 (H24)	6,824億円 (H30)	6,700億円	達成

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

平成27年度より開始した立地等企業促進事業補助金制度を活用し新規立地もしくは再投資をした企業が令和元年度までで16社あり、このことが製造品出荷額等の増加に寄与したと考える。今後も各種支援制度を周知していき、増加を目指す。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	新目標(R3)については、すでに達成しているが、値については商工業戦略プランの指標を基に設定しており、商工業戦略プラン改定時に新目標を設定するか検討する。



# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

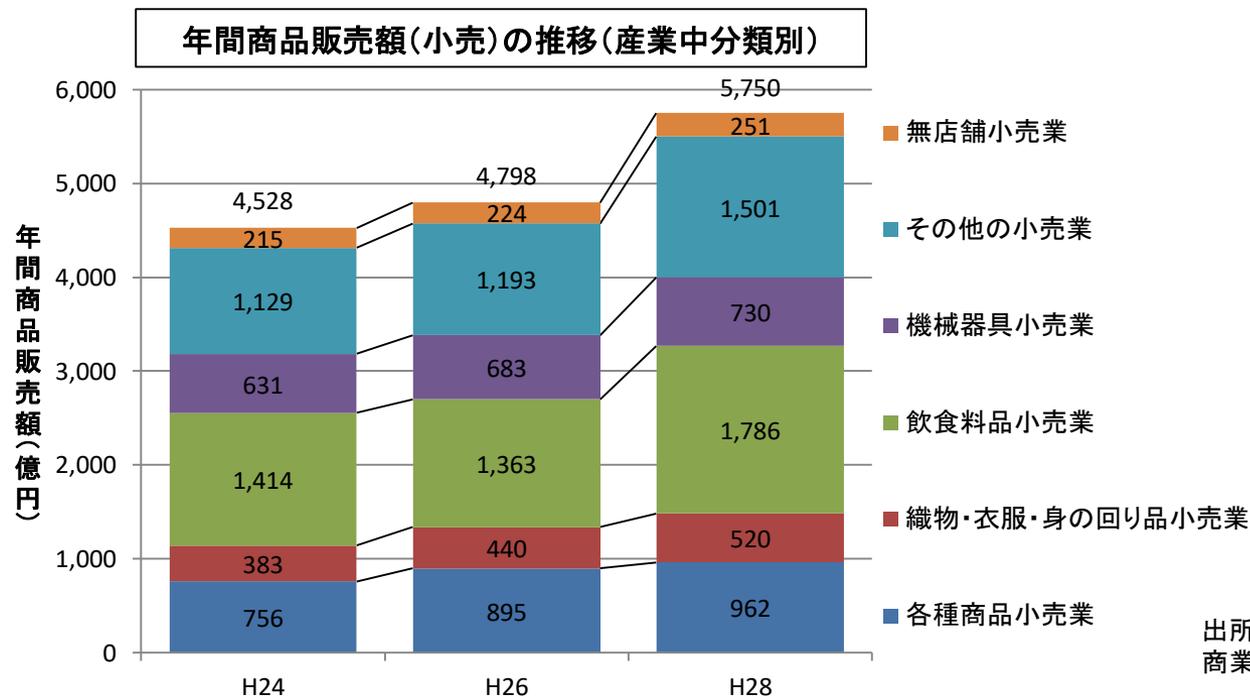
## KPI：年間商品販売額(小売)

策定時	現状	目標	評価
4,528億円 (H24)	5,750億円 (H28)	4,800億円	達成

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

平成28年経済センサス活動調査によると5,750億円と、平成24年と比較して1,222億円増加し、目標値を超えた。産業中分類別の内訳を見ると、「飲食料品小売業」が1,786億円と最も多く、次いで「その他の小売業」(医薬品・化粧品小売業、燃料小売業等)が1,501億円、「各種商品小売業」(百貨店、総合スーパー等)が962億円となっている。また平成24年と比較して増加数が多い産業は、「飲食料品小売業」が373億円増で最も多く、次いで「その他の小売業」が371億円増となっている。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	新目標(R3)については、すでに達成しているが、値については商工業戦略プランの指標を基に設定しており、商工業戦略プラン改定時に新目標を設定するか検討する。



# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

## KPI：中小製造事業所(300人以下)の付加価値率

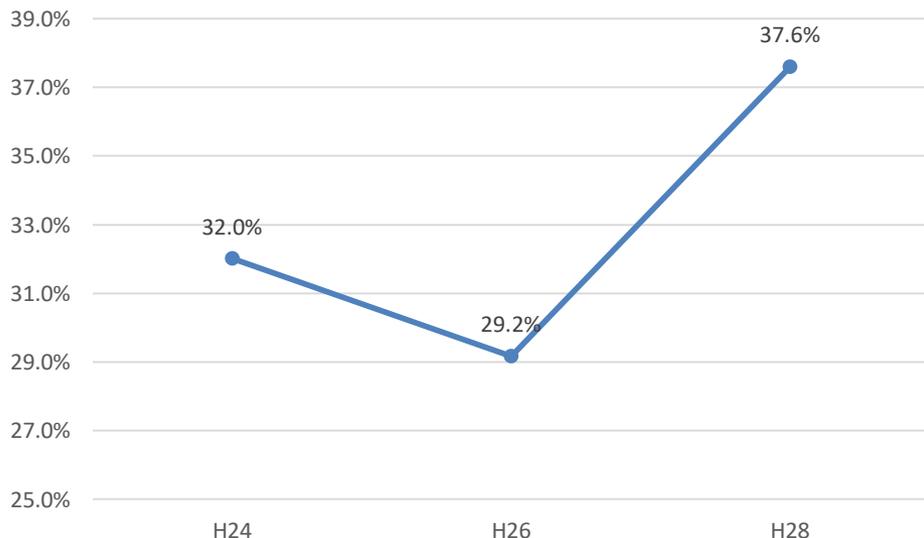
策定時	現状	目標	評価
32.0% (H24)	37.6% (H28)	34.5%	達成

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

平成27年度より開始した立地等企業促進事業補助金制度を活用し設備投資をした中小企業が令和元年度までで6社あり、このことが付加価値率の増加に寄与したと考える。  
市場状況により影響されることから、予断は許さないものの目標値を超えた。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	新目標(R3)については、すでに達成しているが、値については商工業戦略プランの指標を基に設定しており、商工業戦略プラン改定時に新目標を設定するか検討する。

付加価値率の推移



※付加価値率=付加価値額/製造品出荷額等

付加価値額とは(工業統計調査)

### 付加価値額(粗付加価値額)

事業所の生産活動において、新たに付け加えられた価値。  
工業統計調査における付加価値額の算式は以下のとおり。  
(算式)

<従業員30人以上の事業所>

付加価値額=生産額\*(消費税を除く内国消費税額+推計消費税額)-原材料使用額等-減価償却額

\*生産額=製造品出荷額等+(製造品年末在庫額-製造品年初在庫額)+(半製品及び仕掛品年末科学-半製品及び仕掛品年初価額)

※従業員20人以下の事業所は、製造品出荷額等を生産額とみなし、また、減価償却額を調査していないため、粗付加価値額として算出。

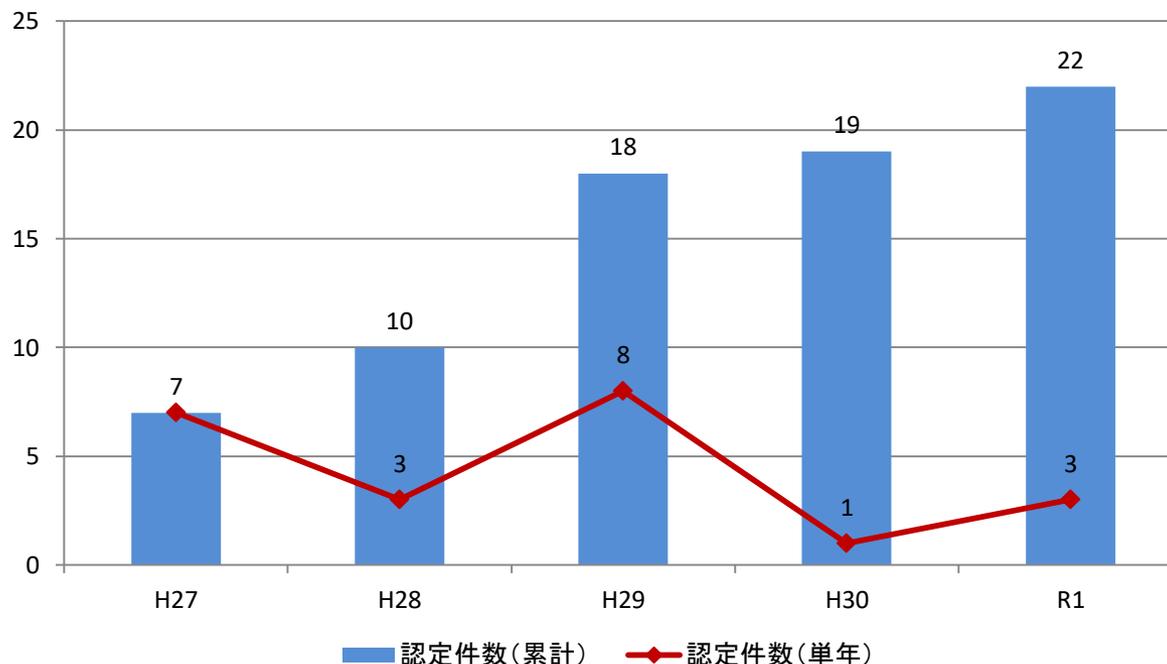
出所:工業統計調査

# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

## KPI：立地等企業促進補助事業の認定件数

策定時	現状	目標	評価
制度開始 (H27)	22件 (H27～R1の累計)	30件 (H27～R2の累計)	あまり順調でない
実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)			
利用件数が多くない要因として、進出するための適した用地がないことが挙げられる。当該補助事業は再投資も対象としていることから、市内事業者に対し、継続して制度周知を行い、さらなる制度活用を促し、目標達成を目指す。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

認定件数の推移



# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

KPI：農水産物の単価（①なし ②小松菜 ③にんじん ④枝豆 ⑤ホンビノスガイ ⑥海苔）

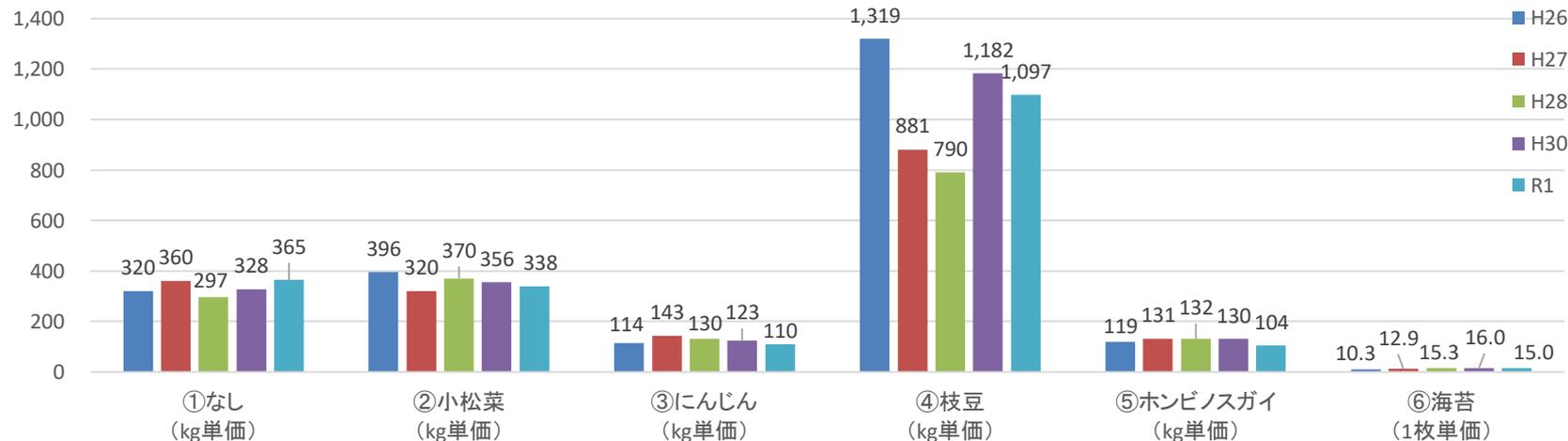
策定時	現状	目標	評価
①320円/kg ②396円/kg ③114円/kg ④1,319円/kg ⑤119円/kg ⑥10.3円/枚 (H26)	①365円/kg ②338円/kg ③110円/kg ④1,097円/kg ⑤104円/kg ⑥15円/枚 (R1)	高品質を維持し、 より高値での取引を目指す	順調

## 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

平成26年度と比較して、令和元年度は農産物は全て出荷量が減少したが、なしについては単価が上昇しており、その他の物についても減少幅は少なく、今後も安定した取引単価が見込める。  
 各種イベント等でのPRにより、市内外の消費者に船橋産農産物の品質の高さなどのイメージアップを図った。今後も継続してPR活動を行い、イメージアップや価値を高めることに努める。  
 水産物については、ホンビノスガイの漁獲量が減少しており、水産資源の維持を図りながら更なる価値の向上を目指す。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—

各農水産物単価の推移



# 基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

## KPI：共同ビジネスマッチング事業におけるマッチング件数

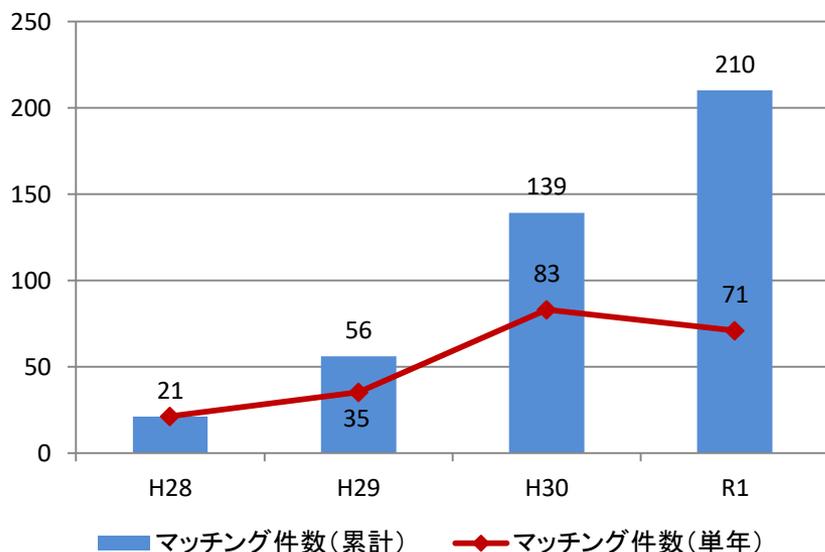
策定時	現状	目標	評価
事業開始予定 (H28)	210件 (H28～R1の累計)	250件 (H28～R2の累計)	順調

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

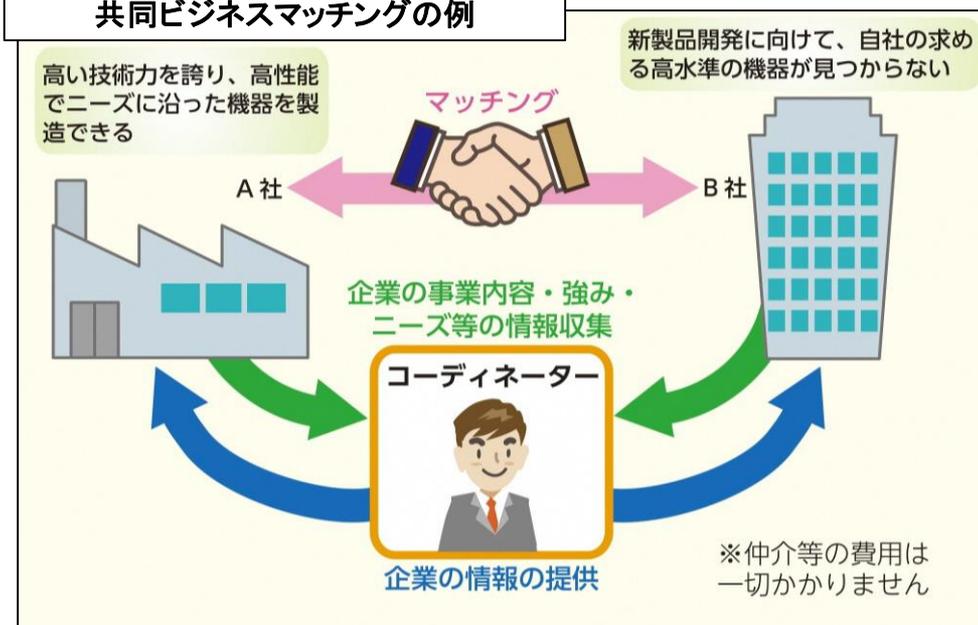
専任コーディネーターのヒアリング活動に基づく企業情報データベースの蓄積と活用により効果的にマッチングを図ることができた。令和元年度は、展示会「産業交流展」への出展を行うなど事業PRに力を入れることで、当制度の認知度向上につながったと考えられる。今後はより利用者のニーズに沿うよう当サイトの改修等(注目企業紹介、マッチング事例紹介等)を行い、さらなる活性化を図る。また新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者によるマッチングニーズの増加傾向がみられるため、引き続きPRを行い、更なる制度利用を促す。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
300件 (H28～R3の累計)	新型コロナウイルス感染症の影響により、販路開拓や受発注等のマッチングニーズが増加傾向にあることから、目標値を上方修正する。

### マッチング件数の推移



### 共同ビジネスマッチングの例



## 基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】

### 数値目標：船橋市の滞在人口(24時間平均)

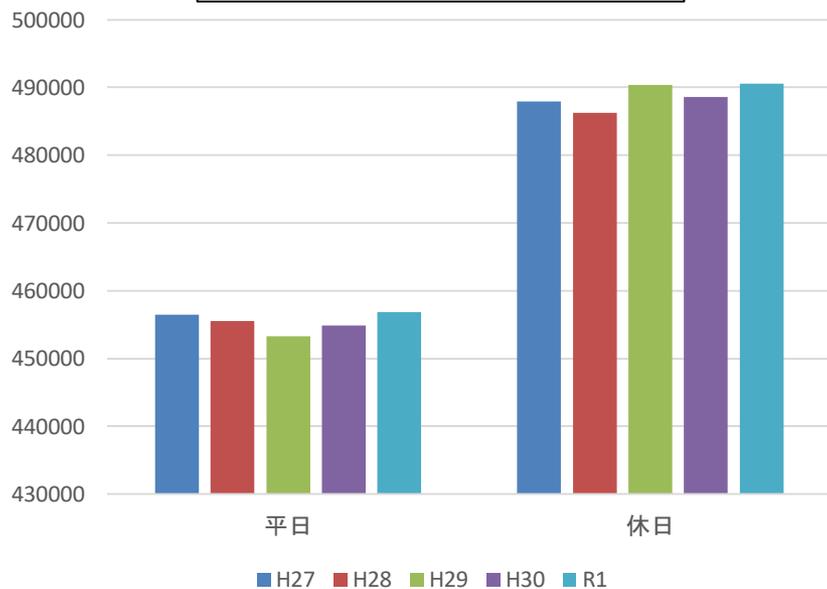
策定時	現状	目標	評価
平日456,486人 休日487,933人 (H27)	平日456,824人 休日490,584人 (R1)	平日455,000人 休日490,000人	達成

#### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

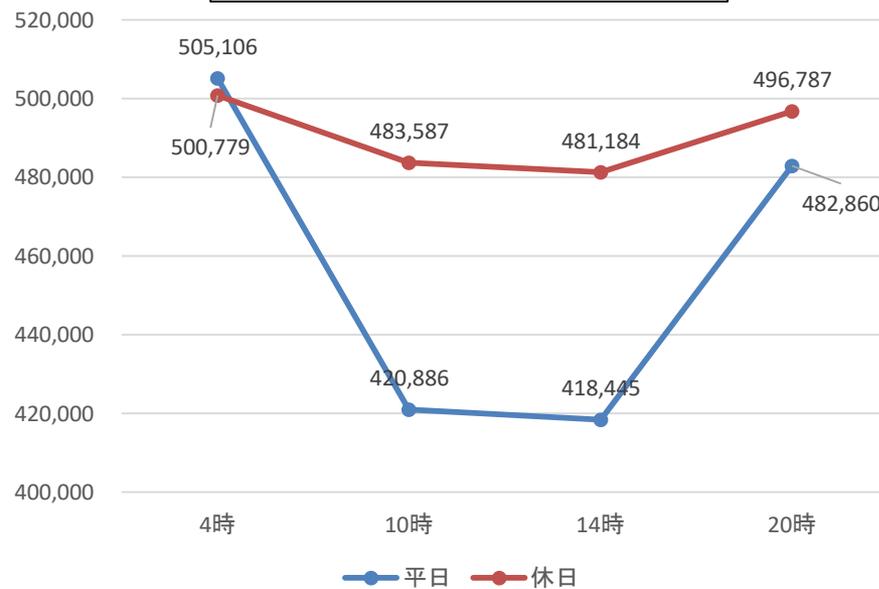
滞在人口の平成30年と令和元年の実績を比較すると、平日、休日ともに約2,000人増加し、時間帯別(4・10・14・20時)で比較しても、全ての時間帯において増加している。  
これは、定住人口増加のほか、市外からの来訪者や市内事業所の従業者数が増加しているためと考えられ、引き続き魅力の創出・情報発信の推進により、滞在人口の更なる増加を目指す。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—

滞在人口の推移(24時間平均)



時間帯別滞在人口(令和元年平均)

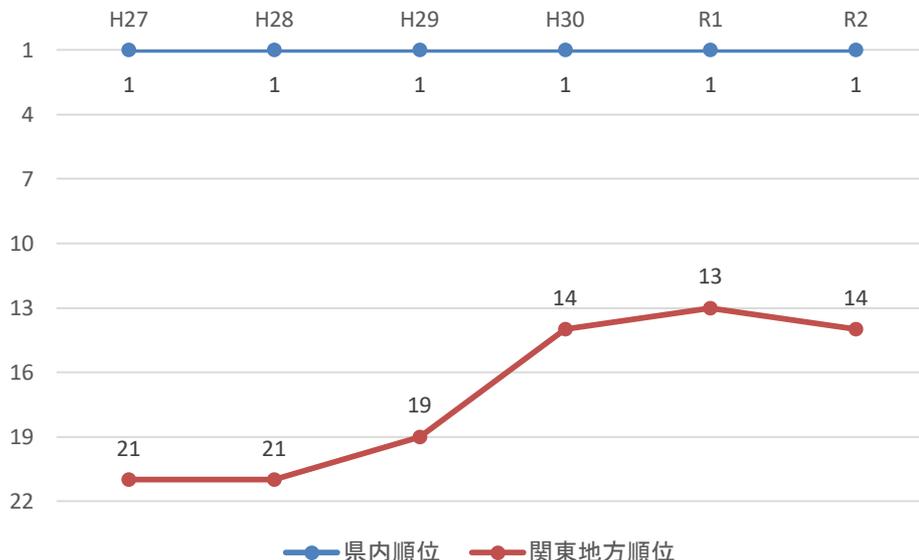


# 基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】

## KPI：住みたい街ランキング

策定時	現状	目標	評価
県内1位(関東地方21位) (H27)	県内1位(関東地方14位) (R2)	県内1位の維持	達成
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
<p>「みんなが選んだ住みたい街ランキング2020関東版」(リクルート住まいカンパニー)によると、船橋市は関東在住者が選ぶ住みたい街ランキングで千葉県内では1位、関東地方では14位となっている。                      今後も住みたいと思われる都市ブランドを確立し、住んで良かったと思われるまちづくりを推進していく。</p>			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

みんなが選んだ住みたい街ランキング2020関東版順位の推移



同ランキング関東地方順位

1位	港区	16位	中野区
2位	世田谷区	17位	豊島区
3位	目黒区	18位	さいたま市浦和区
4位	渋谷区	19位	武蔵野市
5位	千代田区	20位	藤沢市
6位	新宿区	21位	練馬区
7位	文京区	22位	横浜市港北区
8位	中央区	23位	江東区
9位	品川区	24位	つくば市
10位	杉並区		大田区
11位	さいたま市大宮区	26位	横浜市神奈川区
12位	鎌倉市	27位	浦安市
13位	横浜市中区	28位	横浜市青葉区
14位	<b>船橋市</b>	29位	北区
15位	横浜市西区	30位	千葉市中央区

出所:「みんなが選んだ住みたい街ランキング」(2013~2020)  
リクルート住まいカンパニー調べ

# 基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】

## KPI : ふなばしセレクションの市民認知度

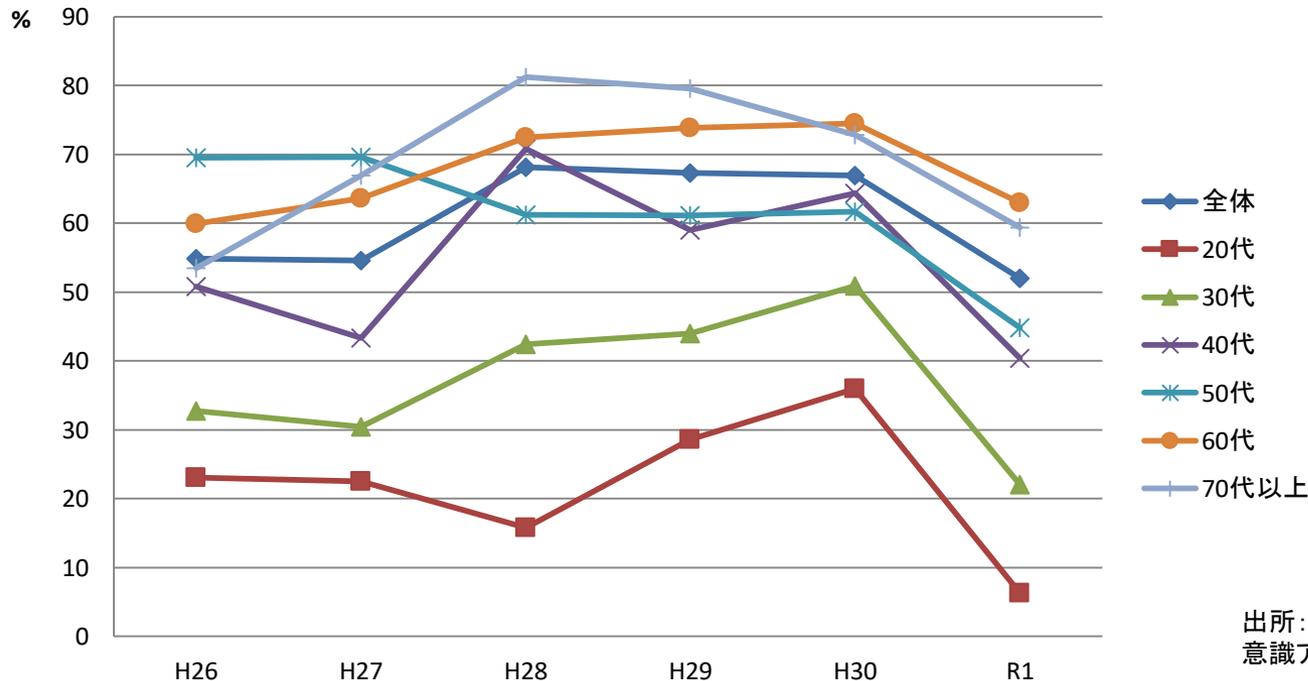
策定時	現状	目標	評価
54.9% (H26)	52.0% (R1)	70%	あまり順調でない

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

制度改正により新規認証をしない年度が生じた(平成30年度)こと、またそのため、プレスリリース等の露出が減ったことによる。令和元年度に新たに商品を認証したことに伴い、ふなばしセレクション事業(PR, 事業者支援)を実施していくが、新型コロナウイルス感染症により人を集めて認証品の良さを伝える催事が実施できないことが課題である。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—

ふなばしセレクション市民認知度の推移

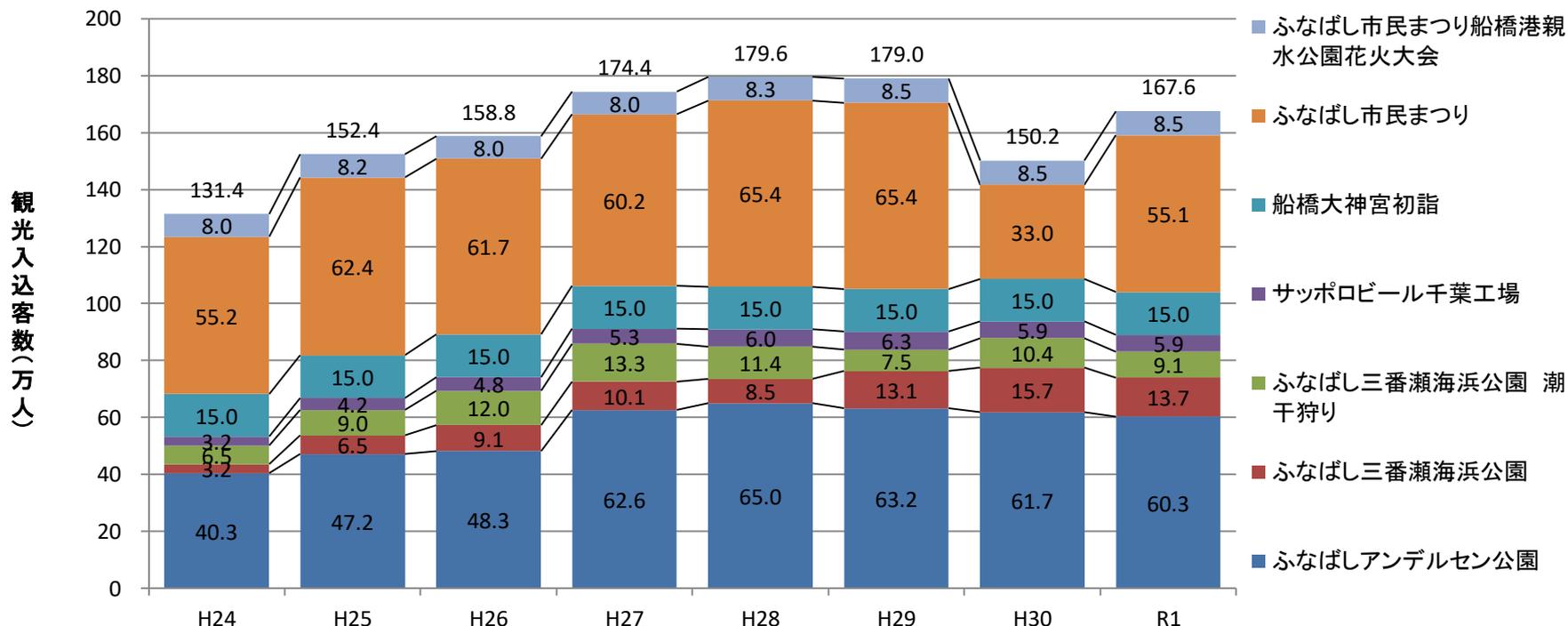


# 基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】

## KPI : 観光入込客数

策定時	現状	目標	評価
1,588,484人 (H26)	1,675,787人 (R1)	2,000,000人	順調
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
平成30年度は、台風の影響で市民まつりの一部が中止となったが、令和元年度については、全日程開催となったため観光入込客数は増加した。 令和2・3年度は、東京オリンピック・パラリンピックにより市民まつりを実施しないため、その分観光入込客数が見込めない状況となる。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の実績については、大打撃を受ける見込みである。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

観光入込客数数の推移

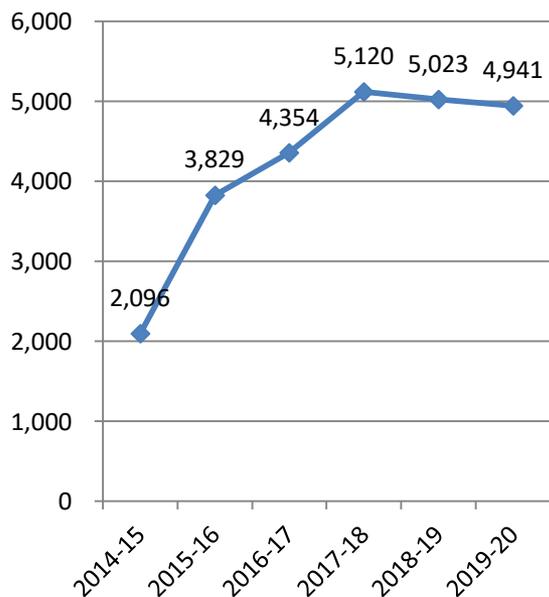


## 基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】

KPI： 船橋アリーナで開催する千葉ジェッツホームゲームの平均観客動員数

策定時	現状	目標	評価
2,096人 (2014-2015シーズン)	4,941人 (2019-2020シーズン)	5,000人	順調
実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)			
2019-2020シーズンにおける観客を動員して船橋アリーナで実施されたホームゲーム16試合分の平均観客動員数。2020年3月27日に新型コロナウイルス感染症の影響により、B.LEAGUE2019-20シーズンB1第33節以降の8試合が中止となったが、ほぼ目標に近い実績となっているため、評価を「順調」とした。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

平均観客動員数の推移



東地区2連覇(2018-19)



ホームゲーム入場者数no.1クラブ表彰(2019-20)



# 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】

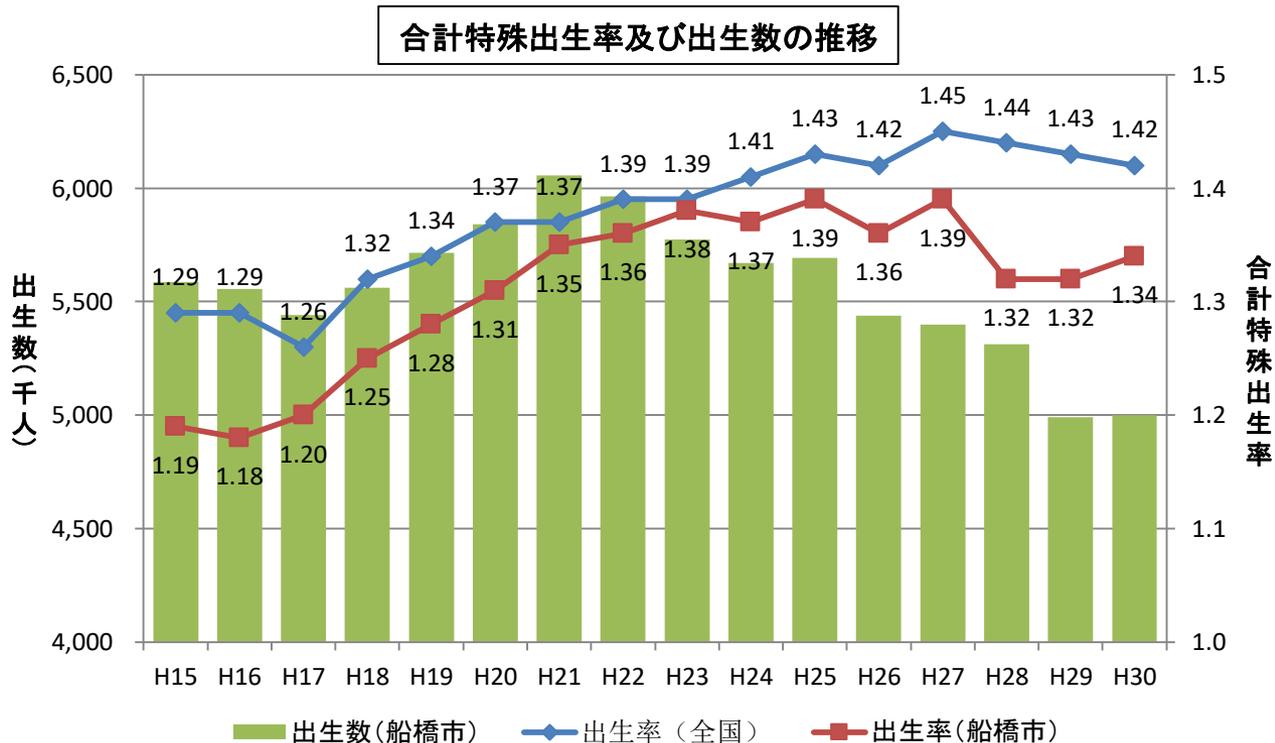
## 数値目標：合計特殊出生率

策定時	現状	目標	評価
1.39 (H25)	1.34 (H30)	1.43	順調でない

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

少子化の進行は、未婚率の増加や晩婚化に伴う第1子出産年齢の上昇、就業状況の変化に伴う結婚・出産・子育てに対する経済的負担感や子育てと仕事の両立のしにくさ等の要因が複雑に絡み合っている。そのため、最終目標値1.43、ひいては市民希望出生率1.73の達成に向けては、要因別の対策が必要である。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—



# 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】

## KPI : 平均初婚年齢

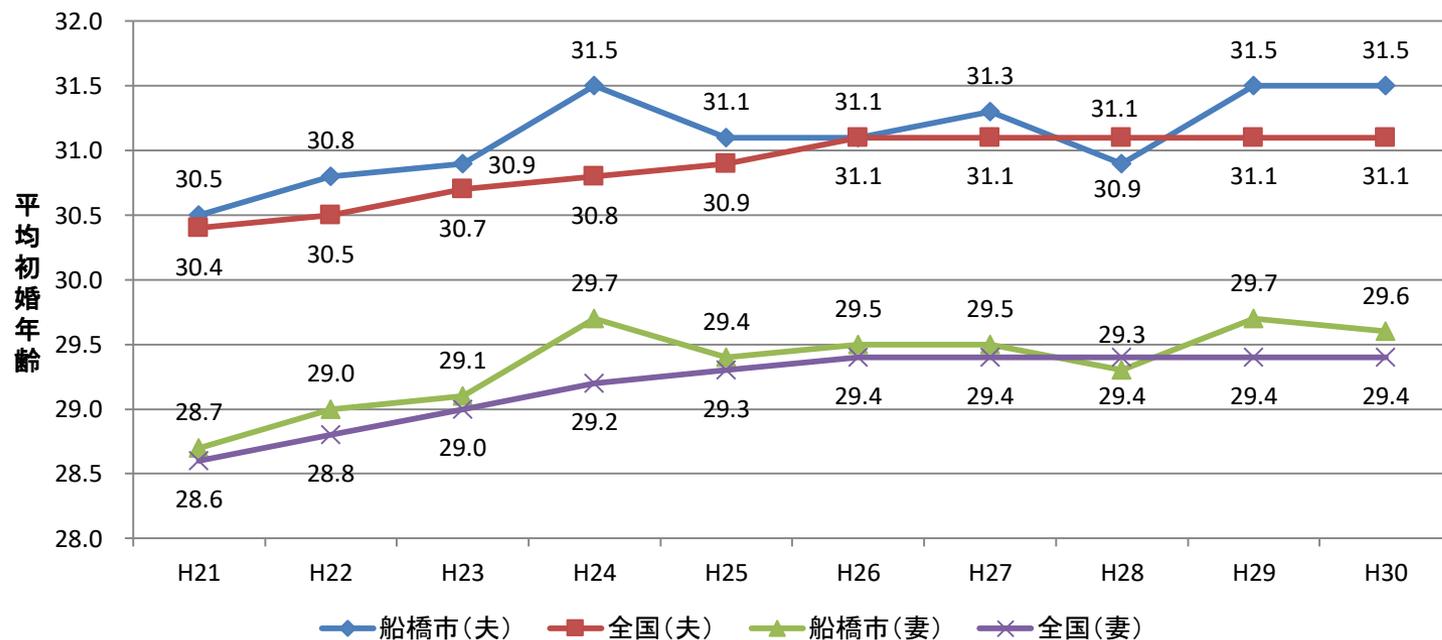
策定時	現状	目標	評価
夫31.1歳 妻29.4歳 (H25)	夫31.5歳 妻29.6歳 (H30)	夫30.9歳 妻29.3歳	順調でない

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

平成25年と比較して、夫は31.1歳から31.5歳に、妻は29.4歳から29.6歳にそれぞれ上がり、目標を達成できていない。国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」によると、平均希望結婚年齢は男性30.4歳、女性28.7歳となっていることから、希望どおり結婚できるよう支援していく必要がある。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—

平均初婚年齢の推移



# 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】

KPI : 保育所待機児童数(4月1日時点)

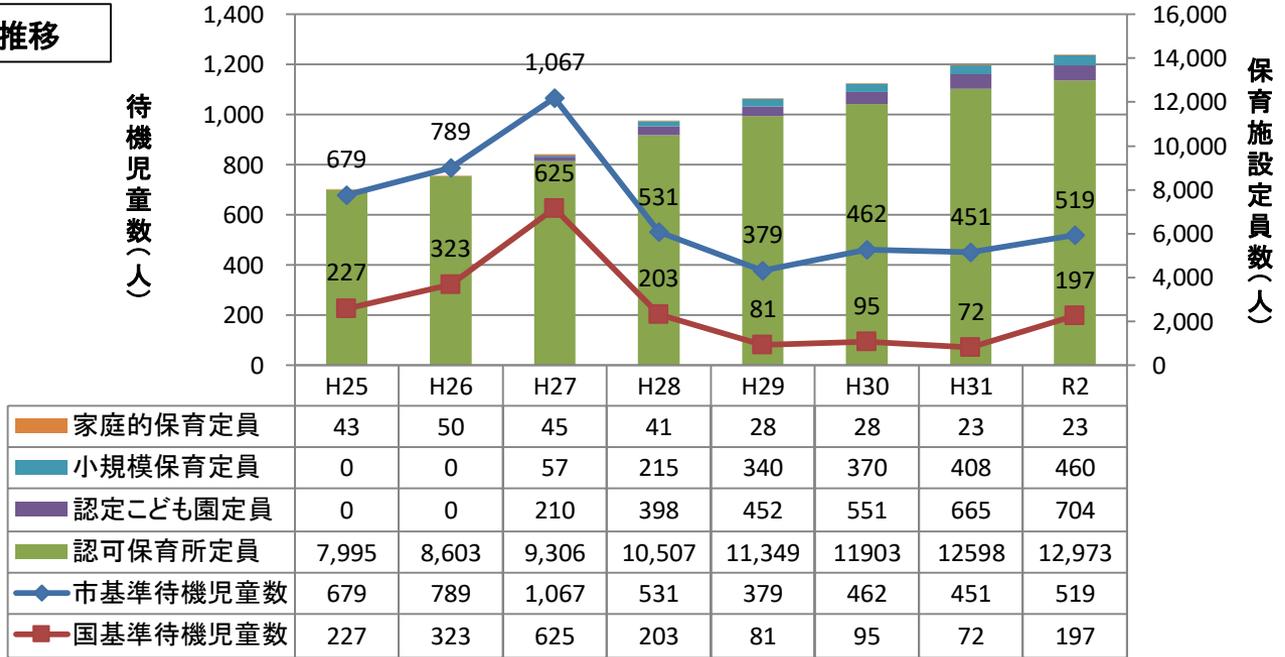
策定時	現状	目標	評価
国基準625人 市基準1,067人 (H27.4)	国基準197人 市基準519人 (R2.4)	解消を目指す	あまり順調でない

**実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)**

伸び続ける保育需要に対応するため、保育所等の整備など保育の受け皿確保を進めており、平成27年4月1日時点で9,618人分であった利用定員は、令和2年4月1日時点で14,160人分となった。  
 令和2年4月1日の待機児童数197人のうち1歳が184人で9割以上を占めており、その他の年齢では前年度よりも減少した。  
 「R2目標」(令和3年4月1日)に向けては、引き続き保育需要が見込まれる地区には施設整備を継続し、その他、今年の1歳(来年の2歳)の受け入れについて既存施設で可能な対応を検討する。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—

待機児童数及び施設定員の推移



# 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】

## KPI : 人にやさしい歩道の整備延長

策定時	現状	目標	評価
整備計画策定 (H26)	22,391m (H27～R1の累計)	22,800m (H27～R2の累計)	順調
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
市民要望及び整備計画に基づき、既設歩道の段差や急な勾配、蓋の手掛け穴を解消し、バリアフリー化を図った。 令和元年度は、市道79-034号線ほか3路線の整備を行った。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		



波乗り歩道



- ・平坦で歩きやすい歩道整備(波乗り歩道の解消)  
市道00-160号線(宮本7丁目)の事例(H27)



手掛け蓋



- ・安全で歩きやすい歩道整備(手掛け蓋の撤去)  
市道79-034号線(小室町)の事例(H30)

# 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】

## KPI : ICT環境が整備された学校数

策定時	現状	目標	評価
小学校1校 中学校1校 (H27)	小学校1校 中学校全27校(全学年) (H27～R1の累計)	全54小学校(6年生) 全27中学校(全学年) (H27～R2の累計)	あまり順調でない

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

中学校は、全学年普通教室、特別支援学級に電子黒板が整備されたが、理科室などの特別教室には整備されていない。小学校は平成27年度の1校の整備以来、整備が進んでいないので、評価を「あまり順調でない」とした。  
令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う緊急対策として、学校のICT化を推進し、小学校3年生から6年生までの普通教室と特別支援学級、特別支援学校に整備する予定である。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
全55小学校(全学年) 全27中学校(全学年) (H27～R3の累計)	令和3年4月より新しく小学校が開設されるため、54校から55校へ変更する。また、令和3年度は小学校1・2年生におけるICT環境の整備を目指す。

### 古和釜中学校の実践 (ICT機器活用推進校)

国語・社会・数学・理科・英語の5教科の指導者用、デジタル教科書を導入。全教室にスライド式電子黒板を設置。従来の授業の中に電子黒板を効果的に取り入れ、生徒たちの関心意欲を高め、理解をより一層深めるように工夫しています。



大きな画面のスライド式電子黒板



従来の黒板と併用可能



電子黒板に転送された生徒それぞれのタブレット画面



タブレット端末で写真撮影



タブレット端末を使って友達と話し合い

### 80台のタブレット端末が 古和釜中学校・坪井小学校に導入

タブレット端末を使う初期段階では、カメラ代わり、発表ツール代わりとして使い、慣れてきたら、タブレット端末を使って話し合うなどの協力的な学びで活用します。また、時には、子供1人1台の利用と、80台のタブレット端末を授業内容によってうまく使い分けています。

### 坪井小学校の実践 (研究指定校・ICT機器活用推進校)

国語・社会・算数・理科の4教科の指導者用、デジタル教科書を導入。全教室にスライド式電子黒板を設置。教材提示装置を使用し子供のノートの提示や、みんなで確認したいことの提示など、日常的に活用しています。



子供が作業した考え方を撮影して電子黒板に提示



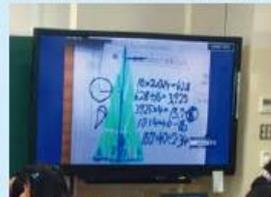
4人の子供のワークシートを提示しての比較検証



撮影された自分のワークシートを使つての発表



電子黒板に図を書き込みながらの発表



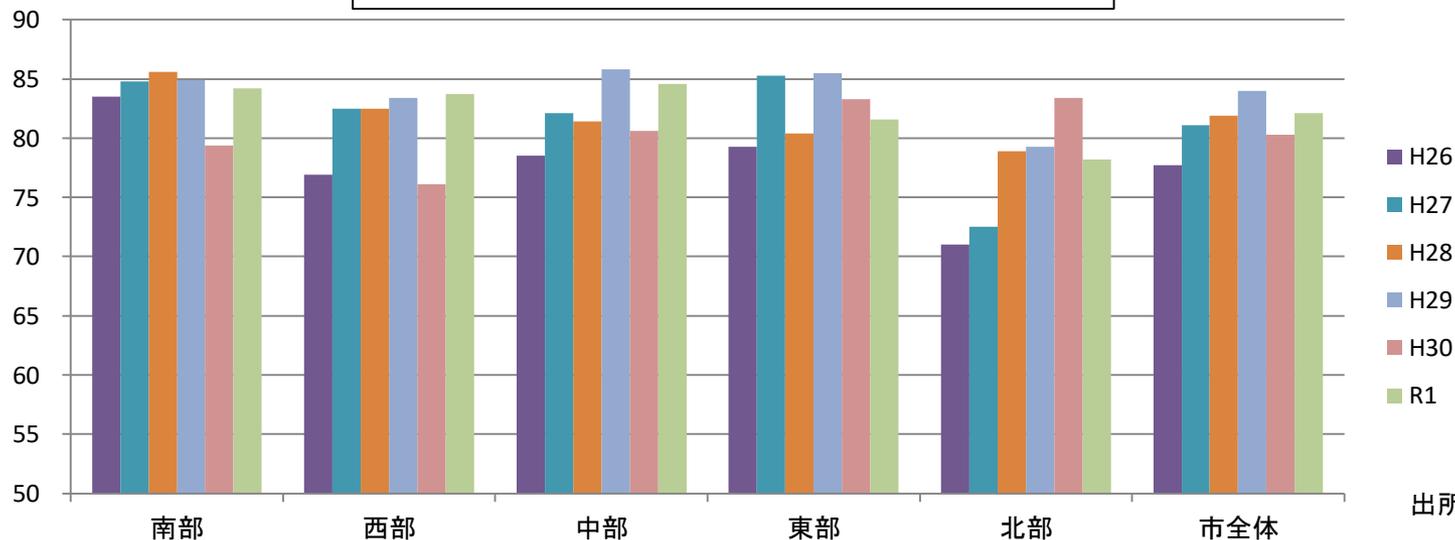
撮影して提示されたワークシートの上に書きこまれた数式

## 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

数値目標・KPI： 船橋市を「住みよい」と感じる市民の割合（「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計）

策定時	現状	目標	評価
南部83.5% 西部76.9% 中部78.5% 東部79.3% 北部71.0% (H26)	南部84.2% 西部83.7% 中部84.6% 東部81.6% 北部78.2% (R1)	全地域80%以上	順調
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
全地域とも、策定時の平成26年と比較すると、「住みよい」と感じる人の割合は増えており、南部・西部・中部・東部地域では80%を超えている。北部地域についても、78.2%と80%に迫っている。 北部地域の住みにくい理由は、「道路・下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」が55.3%と最も多く、「通勤・通学に不便だから」が23.7%と次に多いことから、都市基盤の整備や生活利便性の確保が課題である。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

船橋市を「住みよい」と感じる市民の推移(ブロック別)



# 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

## KPI：管理不全な空家の適正化率

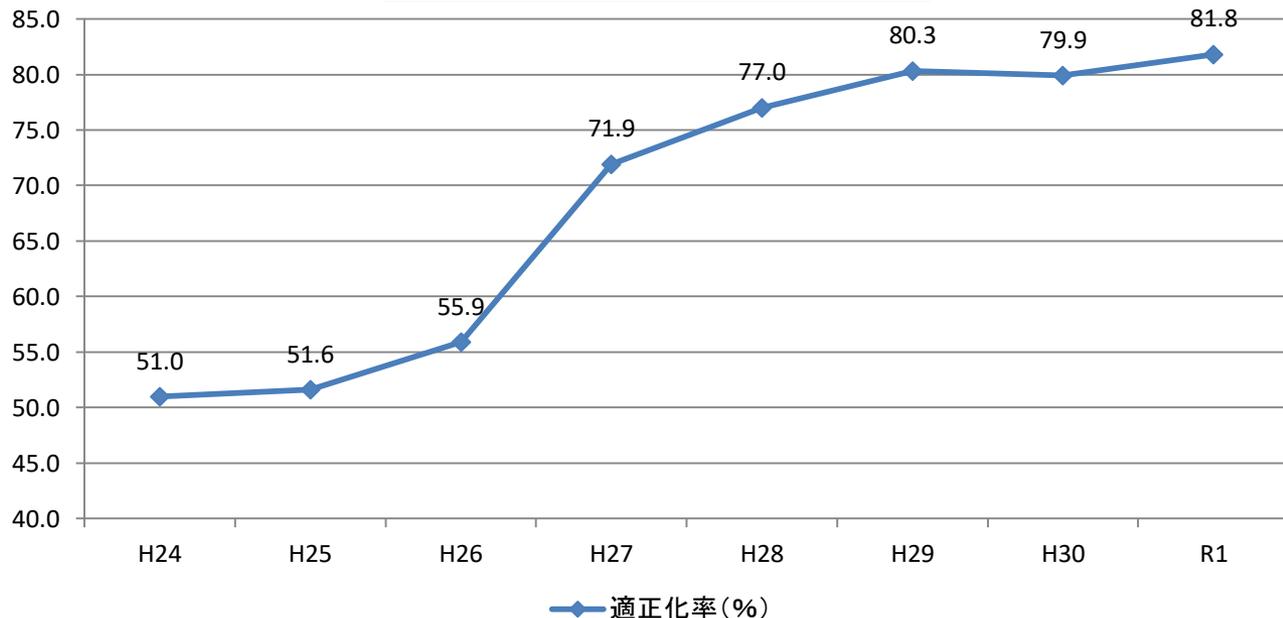
策定時	現状	目標	評価
55.9% (H26)	81.8% (R1)	95%	順調でない

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

平成27年に空家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、課税情報等の利用が可能になったことで、空家の所有者等への適正管理の指導等が進み、適正化率が大幅に上昇した。しかし、毎年新たな空家が発生し、対象が増大していることや、一定程度、適正管理に応じない所有者等がいることで、近年は横ばいで推移している。今後は、空き家の諸問題を解決するための相談窓口の強化等を図り、空家の解消と適正管理を促進していく。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	新目標(R3)については、令和3年度を初年度とする新たな船橋市空家等対策計画の策定過程において検討する。

管理不全な空家の適正化率の推移



# 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

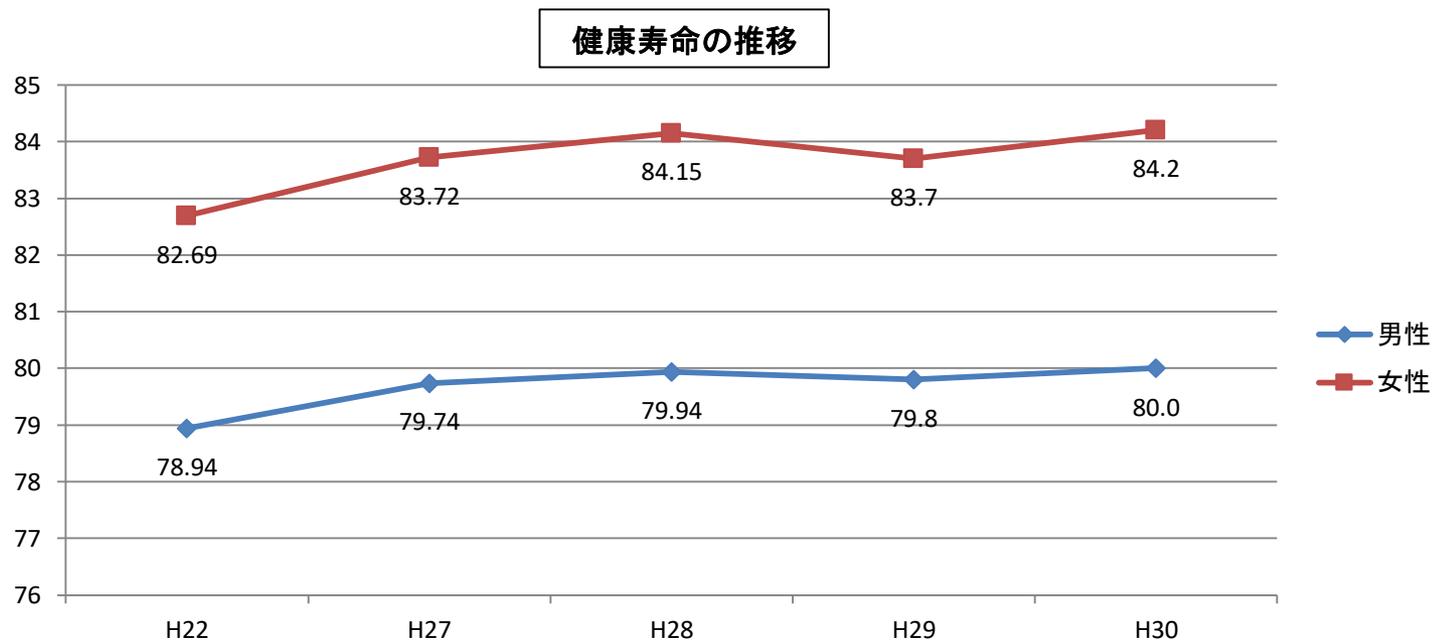
## KPI：健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)の延伸

策定時	現状	目標	評価
男性78.94年 女性82.69年 (H22)	男性80.0年 女性84.2年 (H30)	確実な延伸	順調

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

ふなばし健やかプラン21(第2次)では、健康寿命の延伸を大目標として計画の推進をしている。令和元年度に計画の中間評価を実施するとともに、後期分野別計画を策定し、今後も健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進していく。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—



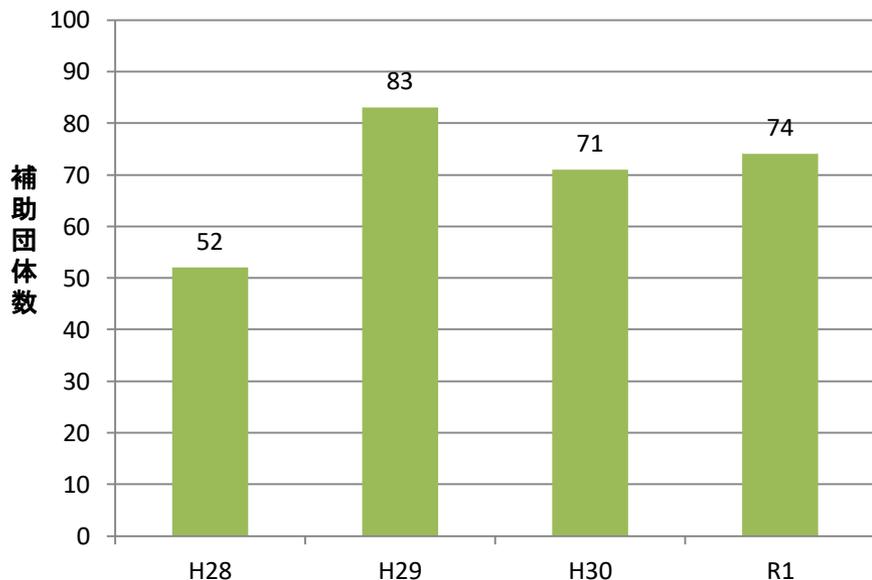
※平成29年より算出方法を変更している

# 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

## KPI：地域介護予防活動支援事業の補助団体数

策定時	現状	目標	評価
事業開始予定 (H28)	74団体 (R1)	100団体	あまり順調でない
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
事業開始から5年たち、応募する団体数(補助を必要とする団体数)が70台で推移している。引き続き地域住民が主体となる介護予防の拠点づくりを推進することを目指す。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

補助団体数の推移



制度概要

### 【補助対象となる介護予防活動】

参加者の8割以上が65歳以上の市民で、運動器の機能向上を目的とした、1回あたり30分以上行われる体操

### 【対象団体】

次のすべてに該当する団体

- ・ 市民10人以上で構成された団体
- ・ 介護予防活動を定期的に行う団体
- ・ 団体のメンバー以外の人参加を受け入れることが可能な団体

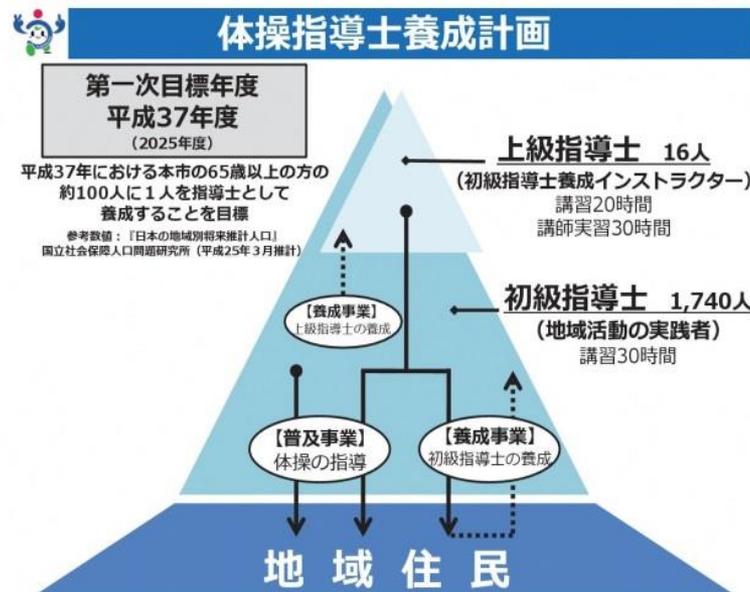
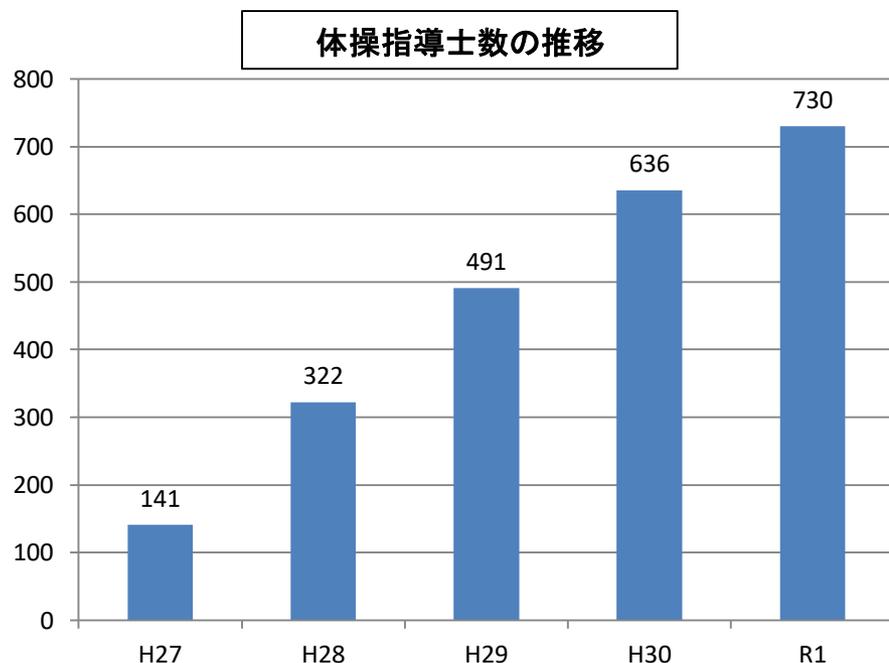
### 【補助対象】

- ・ 補助対象費用: 介護予防活動を行うために使用する会場の使用料、必要な消耗品の購入費用 など
- ・ 補助率上限: 80%
- ・ 補助限度額: 10万円

# 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

## KPI：ふなばしシルバーリハビリ体操指導士数

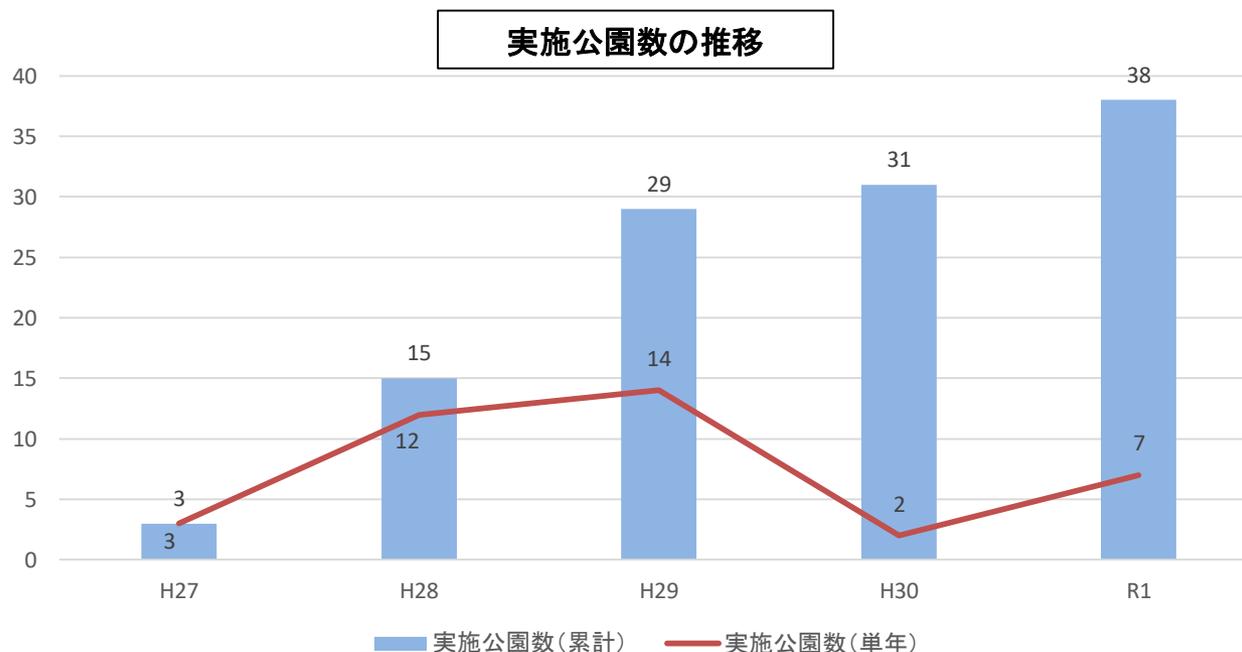
策定時	現状	目標	評価
事業開始 (H27)	730人 (H27～R1の累計)	1,050人 (H27～R2の累計)	順調
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
令和元年度は、年度末に新型コロナウイルス感染症の影響で体操指導士養成講習会を途中で中断せざるを得なくなったため、年間180人の指導士養成は達成できなかった。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で養成講習会が全く開催できていない。令和3年度からは、開催方法や周知方法、会場を再検討し、年間180人養成を目指していく。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
910人 (H27～R3の累計)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で体操指導士養成講習会が開催できなかったため、令和元年度実績からの積み増しとして再設定した。		



## 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

### KPI : 公園を活用した健康づくり事業実施公園数

策定時	現状	目標	評価
3公園 (H27)	38公園 (H27～R1の累計)	54公園 (H27～R2の累計)	あまり順調でない
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
<p>令和元年度は、実施公園数は増加したものの、目標には達していない。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年3月～10月末まで市事業としては中止している現状である。事業再開後には、感染症対策を講じながら通常事業運営に戻していくとともに、新型コロナウイルス感染症拡大状況等を注視しながら、関係団体を通じた周知の他、新規相談を受けたが実施に至っていない団体へアプローチし実施に向け協議を行う。</p>			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
46公園	事業拡大に向けたアプローチが出来ていないため、令和5年度までに54公園までの拡大を目指すこととし、目標公園数の見直しを図った。		

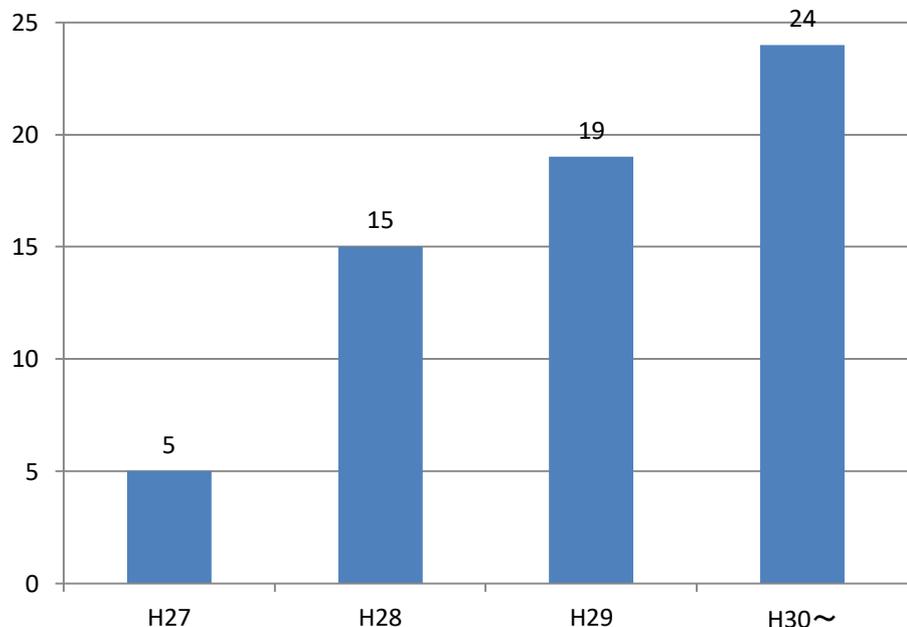


## 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

### KPI：生活支援コーディネーター配置地区数

策定時	現状	目標	評価
5地区 (H27)	全地区(24地区)	全地区(24地区)	達成
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
平成30年度で全24地区コミュニティに生活支援コーディネーターの配置が完了しており、現在は各地区の状況に応じてニーズ調査やたすけあいの会創出のサポート、担い手の発掘など様々な活動を行っている。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

生活支援コーディネーター配置地区数の推移



生活支援コーディネーターとは

#### 【概要】

地域における高齢者の生活支援等サービス(助け合い活動等)の体制整備を推進していくことを目的に、サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たすため、市町村ごとに配置する法人または個人。

市では、生活支援コーディネーターの配置に係る業務を「社会福祉法人船橋市社会福祉協議会」に委託している。

#### 【主な役割】

- 各地区内における生活支援等サービス(助け合い活動等)の体制整備、普及啓発活動
- サービスの担い手の発掘・育成、ニーズとサービスのマッチング
- 生活支援等サービスの体制整備にあたり必要な地域の各団体のネットワークの構築

# 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

## KPI：自主防災組織結成率

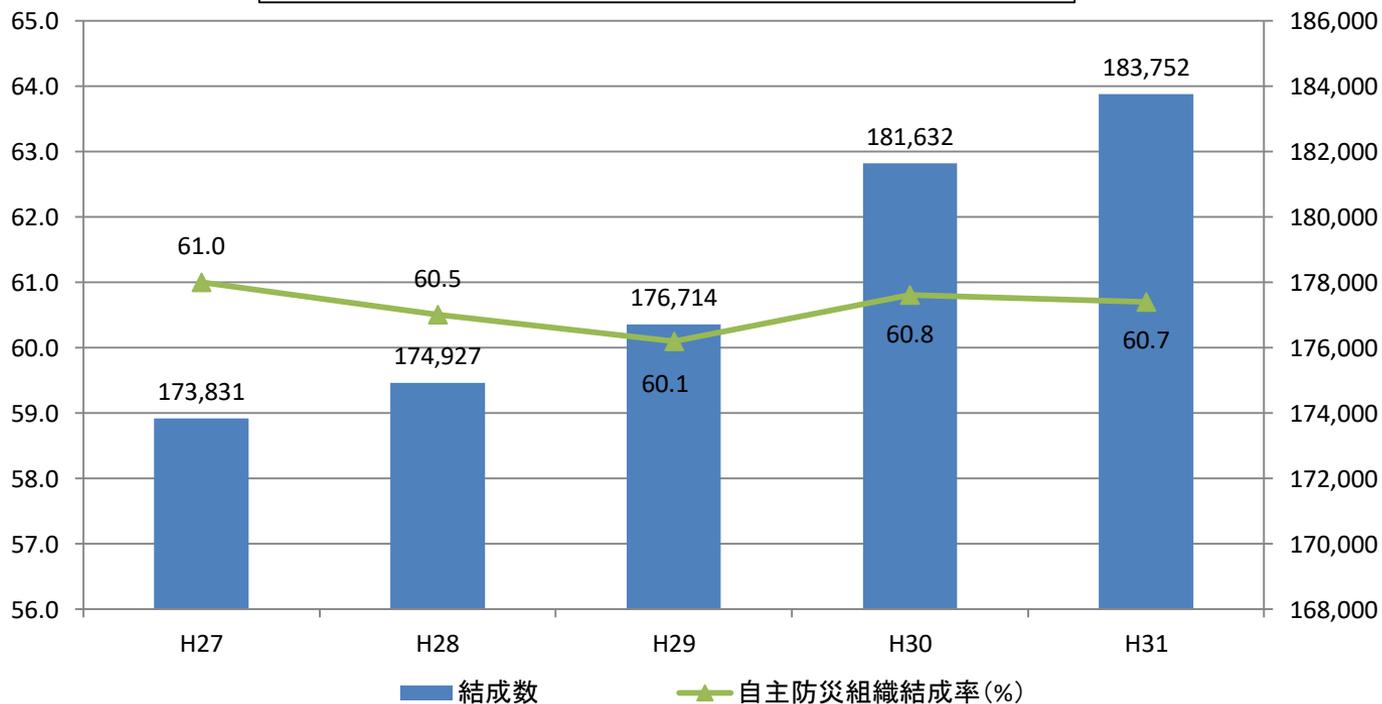
策定時	現状	目標	評価
61.0% (H27)	60.7% (R1)	70%	あまり順調でない

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

人口や世帯数が増加している中、組織結成率の上昇には至っていないが、実数は着実に増えている。引き続き、総合防災訓練、地域防災リーダー養成事業及び防災講話などを通して、組織結成の必要性を説明し、特に結成率が低い地区の町会・自治会やマンション管理組合への働きかけを実施していく。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—

自主防災組織結成率の推移(各年4月1日時点)

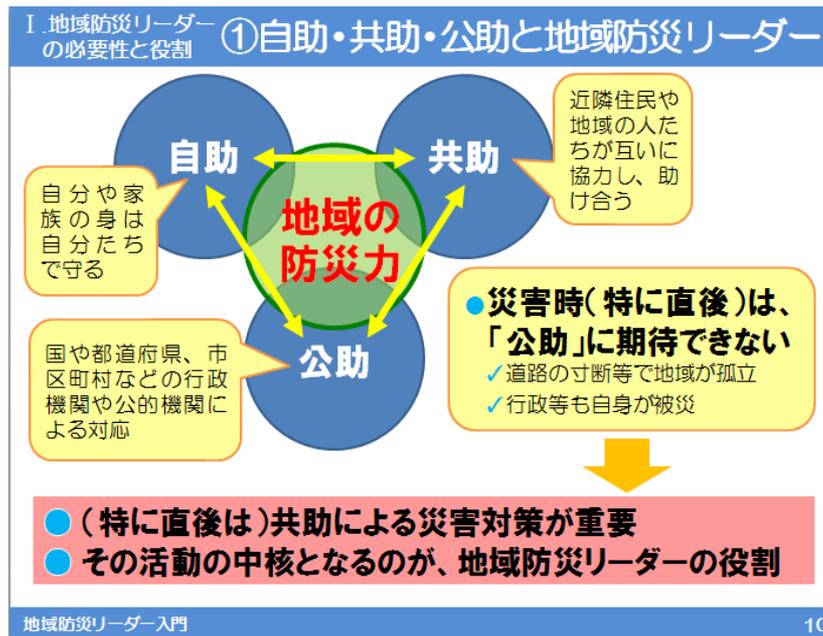
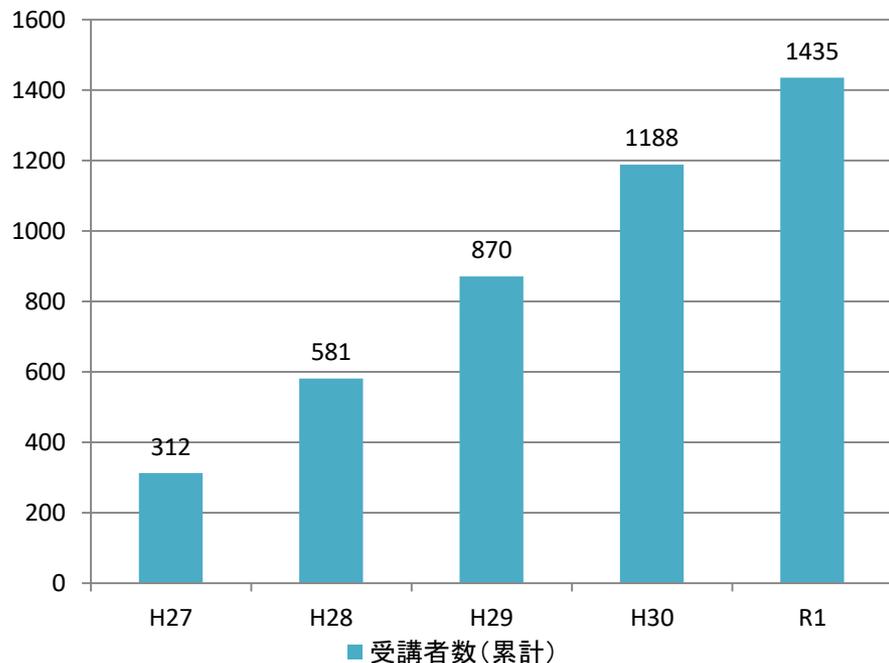


# 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

KPI : 地域防災リーダー養成講座の受講者数

策定時	現状	目標	評価
347人 (H26)	1,435人 (H27~R1の累計)	1,800人 (H27~R2の累計)	順調
実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)			
災害への個人の備え、地域の備え(集合住宅の備え)をテーマにし、講話に加え、ワークショップ及び自主防災組織の活動事例を紹介するなどの講座を実施した。引き続き、自主防災組織結成や活動の促進につながる内容の講座を開催していく。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

地域防災リーダー養成講座の受講者数の推移



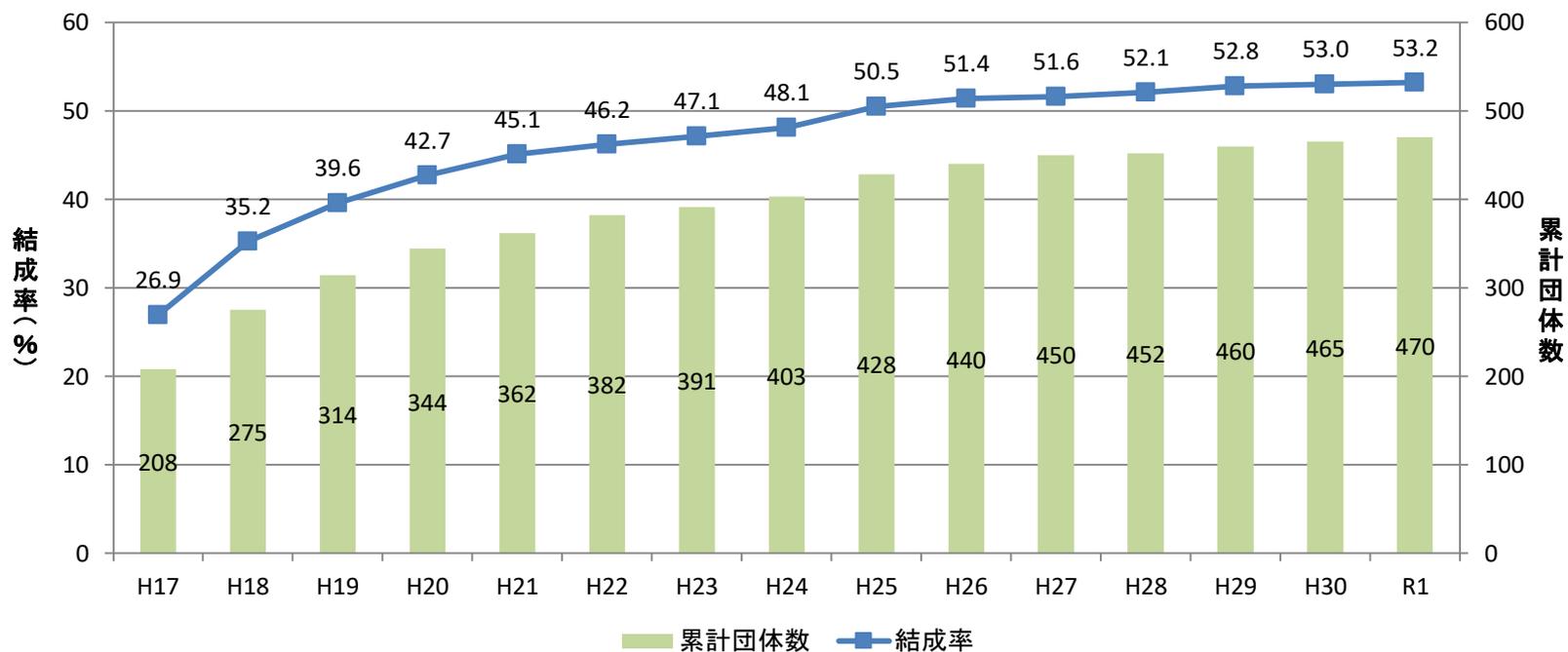
出所:「地域防災リーダー入門」テキスト(内閣府)

# 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

## KPI：自主防犯パトロール隊の結成率

策定時	現状	目標	評価
51.4% (H26)	53.2% (R1)	55%	あまり順調でない
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
<p>毎年少しずつ結成率は上昇しているが、自治会の件数が増加していることや自治会の負担が増加傾向にあるため伸び幅が少なかった。</p> <p>自主的な防犯活動であるため結成を強制することはできないが、引き続き支援は続けていきたいと考える。</p>			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
変更なし	—		

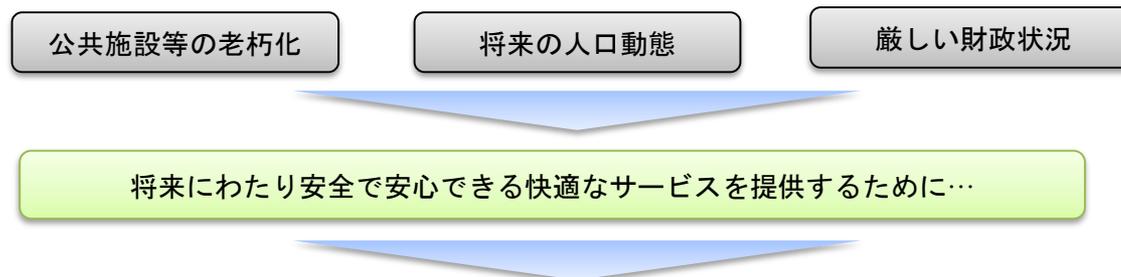
自主防犯パトロール隊の結成率の推移



## 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

### KPI : 公共施設等総合管理計画の推進

策定時	現状	目標	評価
策定着手 (H27)	施設類型ごとの方針をまとめた個別施設計画の素案作成	令和2年度中の個別施設計画の策定	順調
<b>実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)</b>			
施設類型ごとの方針作成のための将来ニーズや課題を調査・整理した。令和2年度中に個別施設計画(施設類型別方針)の最終とりまとめを行う。			
新目標(R3)	新目標設定の考え方		
令和3年度中の公共施設等総合管理計画の国指針に基づく改訂	国の改訂項目にあわせ総合管理計画の追記・改訂を行う。		



### 〔公共施設等の管理に関する基本方針〕

#### 公共施設等の最適な配置

地域により二極化する人口動態を踏まえて、新規施設整備及び統廃合・転用等、施設総量の最適化を推進する。

#### 安全安心な公共施設等の整備

- i. 今後一斉に建替え時期を迎える施設や、老朽化対策の遅れている施設に対して、予防保全や長寿命化を推進する。
- ii. すでに作成されている保全計画や各長寿命化計画を基本とした整備を推進する。

# 基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

## KPI：船橋市に「愛着がある」と思う市民の割合

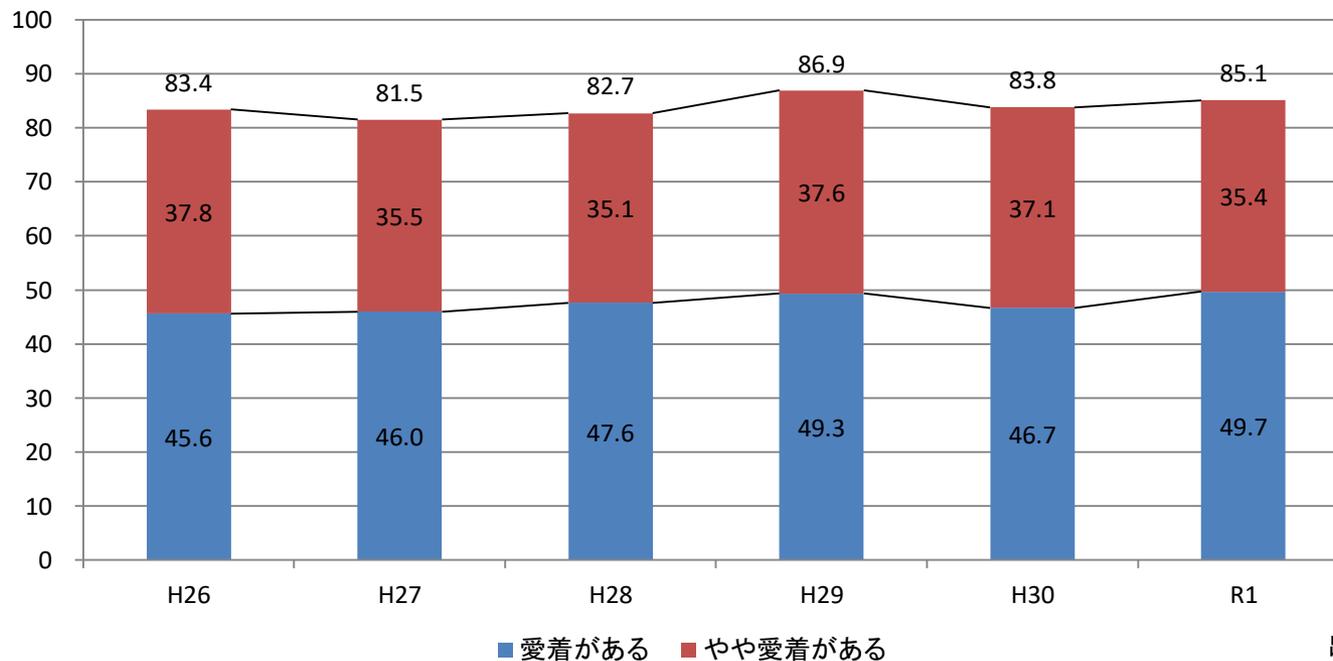
策定時	現状	目標	評価
83.4% (H26)	85.1% (R1)	85%	達成

### 実績の分析(改善・悪化した理由、目標達成に向け取り組んだこと、今後の取り組み等)

「愛着がある」と「やや愛着がある」の合計は、策定時以降概ね上昇傾向にあり、令和元年度は85.1%と目標を達成した。今後も引き続き市民に愛着を持ってもらえるよう、情報の発信やイベントの開催を行っていく。

新目標(R3)	新目標設定の考え方
変更なし	—

船橋市に「愛着がある」と思う市民の割合の推移



出所：市民意識調査